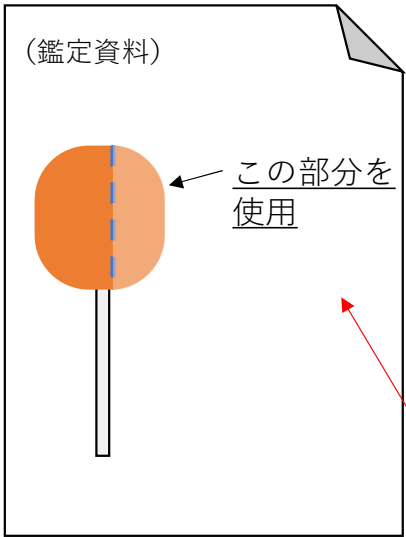


(参考資料 6：特別監察において確認した不適切な取扱いのイメージ図)

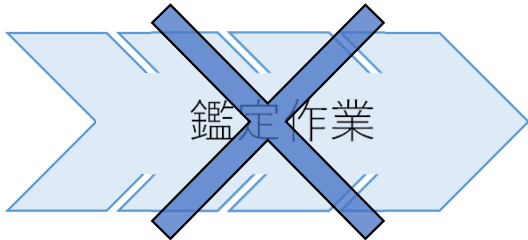
【当該鑑定資料のDNA型鑑定の不実施】

類型[1]：鑑定資料が切り取られていないにもかかわらず、当該鑑定資料を使用して検査をしたように装ったもの

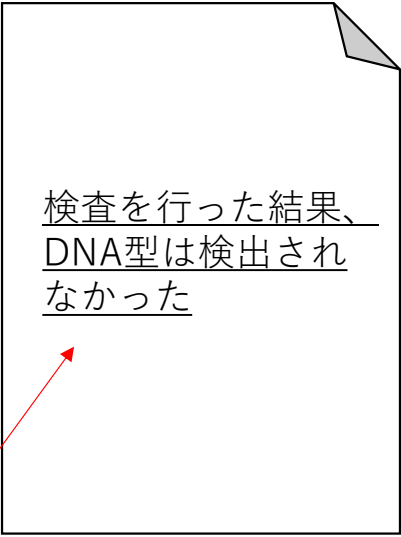
ワークシート



当該鑑定資料を用いた
鑑定作業は不実施



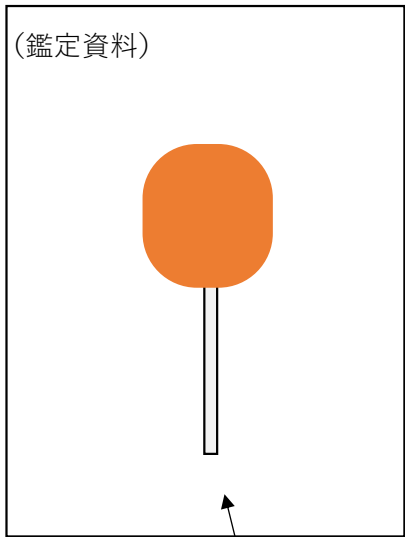
回答



事実と異なる記載

再鑑定

再鑑定開始時の写真



切った形跡がない

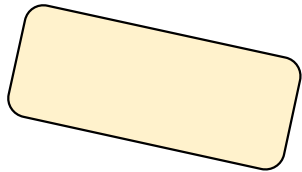
注：不適切な取扱いのイメージであり、実際の資料の形状や書類の記載内容を表すものではない。

【鑑定残余資料の紛失・偽装】

類型[2] : 鑑定後の残余資料を紛失し、異なる資料を残余資料であるかのように装ったもの

受領時写真

(鑑定資料)

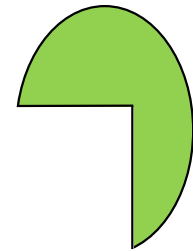


鑑定作業

残余資料を紛失

返還時写真

(残余資料)



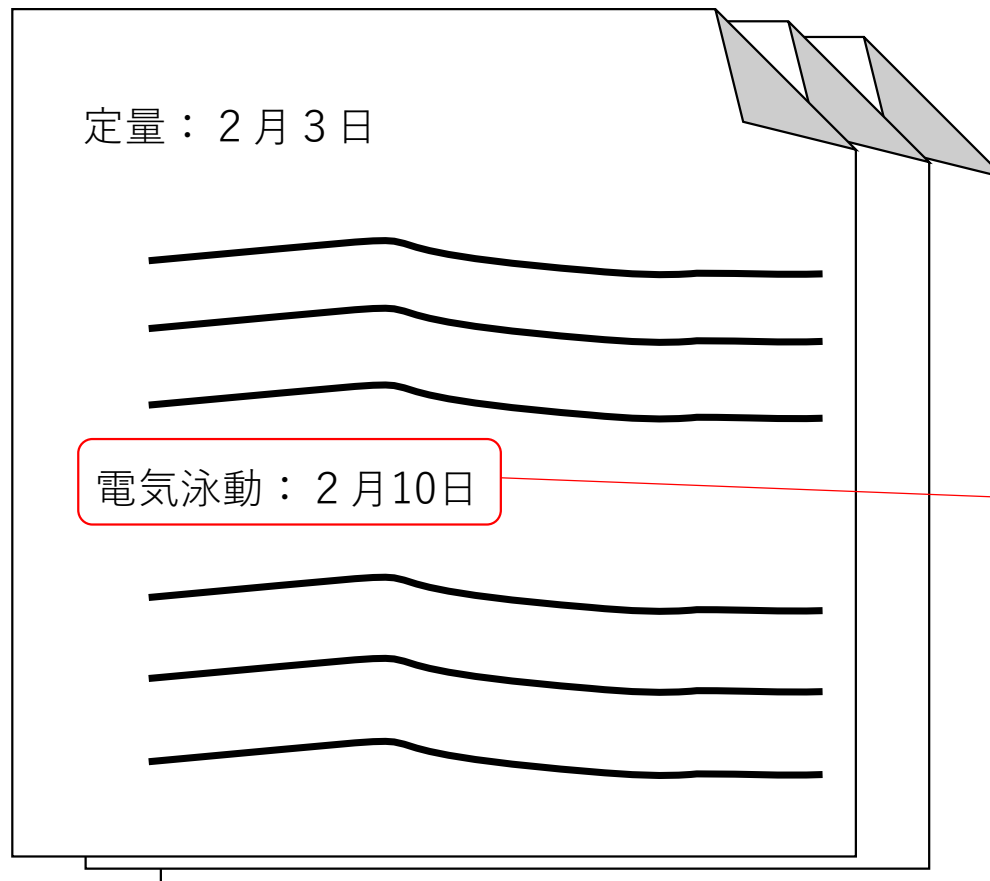
受領時の写真と返却時の写真に写る資料が明らかに違う

注：不適切な取扱いのイメージであり、実際の資料の形状や書類の記載内容を表すものではない。

【ワークシートの不適切な記載】

類型[3] : ワークシート（※）に事実と異なる記載をしたもの

ワークシート



※ 鑑定の経緯・手順や日時等を記載した書類

実際の電気泳動日と異なっている

注：不適切な取扱いのイメージであり、実際の資料の形状や書類の記載内容を表すものではない。

【定量日時等の不適切な変更】

類型[4] : 定量（※1）結果資料の作成に当たり、定量日時やコントロール（※2）の定量結果の数値等を変更していたもの

※1 DNA抽出液やコントロールにヒトDNAが含まれている量を検査すること

※2 検査が正常に行われていることを確認するために鑑定資料と同時に検査するもの

定量結果資料

定量日時：2月2日13時00分

実際の定量日時と異なっている

コントロールの定量結果：□▶◎

実際のコントロールの定量結果と異なっている

注：不適切な取扱いのイメージであり、実際の資料の形状や書類の記載内容を表すものではない。

類型[5]

【コントロール等の電気泳動データの不適切な組み合わせ】

：電気泳動（※1）データの解析結果資料の作成に当たり、鑑定資料以外のコントロールやアレリックラダー（※2）の電気泳動データを不適切に組み合わせて使用していたもの

※1 DNA増幅液やコントロール、アレリックラダーにどのようなDNAが含まれているかを検査すること

※2 電気泳動結果を解析する際に必要となるDNA型の指標を得るために鑑定資料と同時に検査するもの

電気泳動データ 1回目

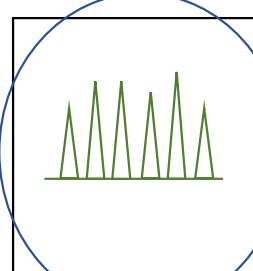
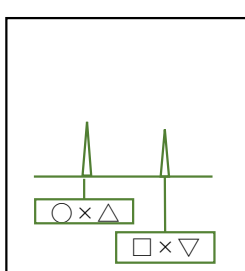
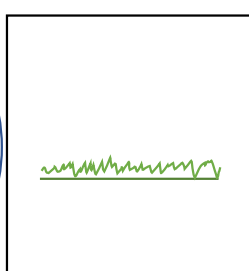
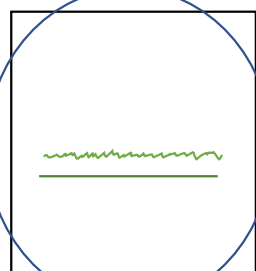
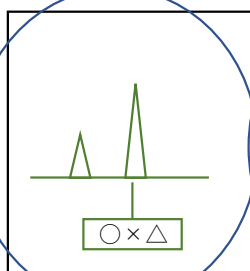
資料 1

EC 1

NC 1

PC 1

AL 1



電気泳動データ 2回目

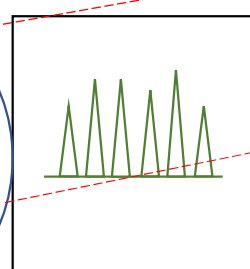
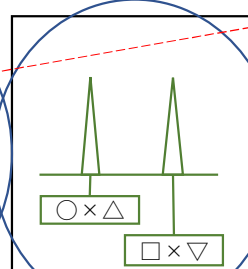
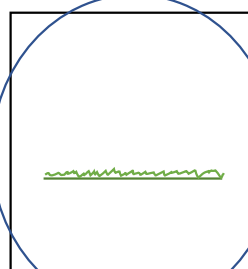
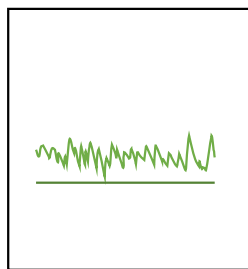
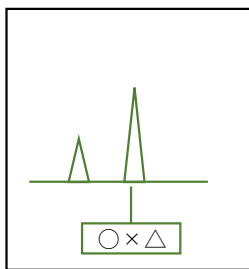
資料 2

EC 2

NC 2

PC 2

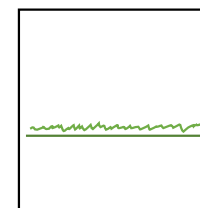
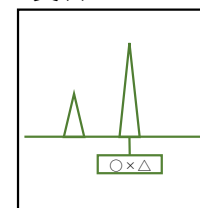
AL 2



作成された解析結果資料

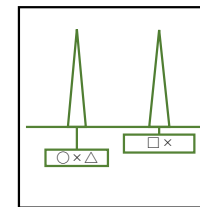
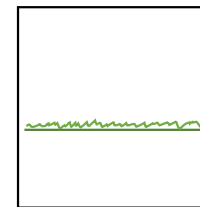
資料 1

EC 1

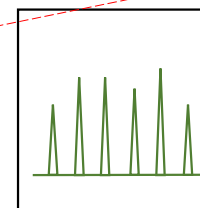


NC 2

PC 2



AL 1



不適切に使用して結果を回答

注：不適切な取扱いのイメージであり、実際の資料の形状や書類の記載内容を表すものではない。

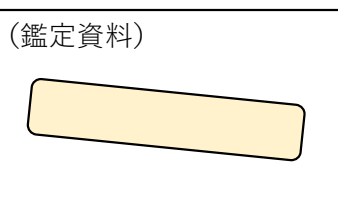
類型[6]－1

【予備検査の不十分な実施】

：対象職員による鑑定ではDNA型が検出されなかった鑑定において、対象職員による予備検査（※）が不十分であったもの

※ 鑑定資料に血液や精液等が付着しているかを検査すること

対象職員の鑑定



予備検査

不十分

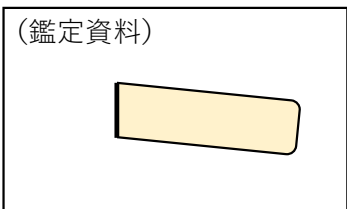
予備検査結果

唾液 陰性
精液 陰性

鑑定終了

予備検査で、鑑定資料に唾液や精液の付着が認められなかったため、その後の検査は実施していない。

再鑑定



予備検査

予備検査結果

唾液 陽性
精液 陽性

鑑定作業

鑑定結果

DNA検出

注：不適切な取扱いのイメージであり、実際の資料の形状や書類の記載内容を表すものではない。

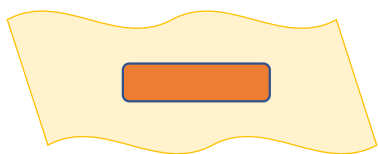
類型[6]－2

【鑑定資料の付属品の紛失】

：鑑定嘱託を受けた際に鑑定資料に付属していたものを紛失したもの

受領時写真

(鑑定資料)



返還時写真

(残余資料)



鑑定作業

どこかのタイミングで  (ティッシュ) を紛失



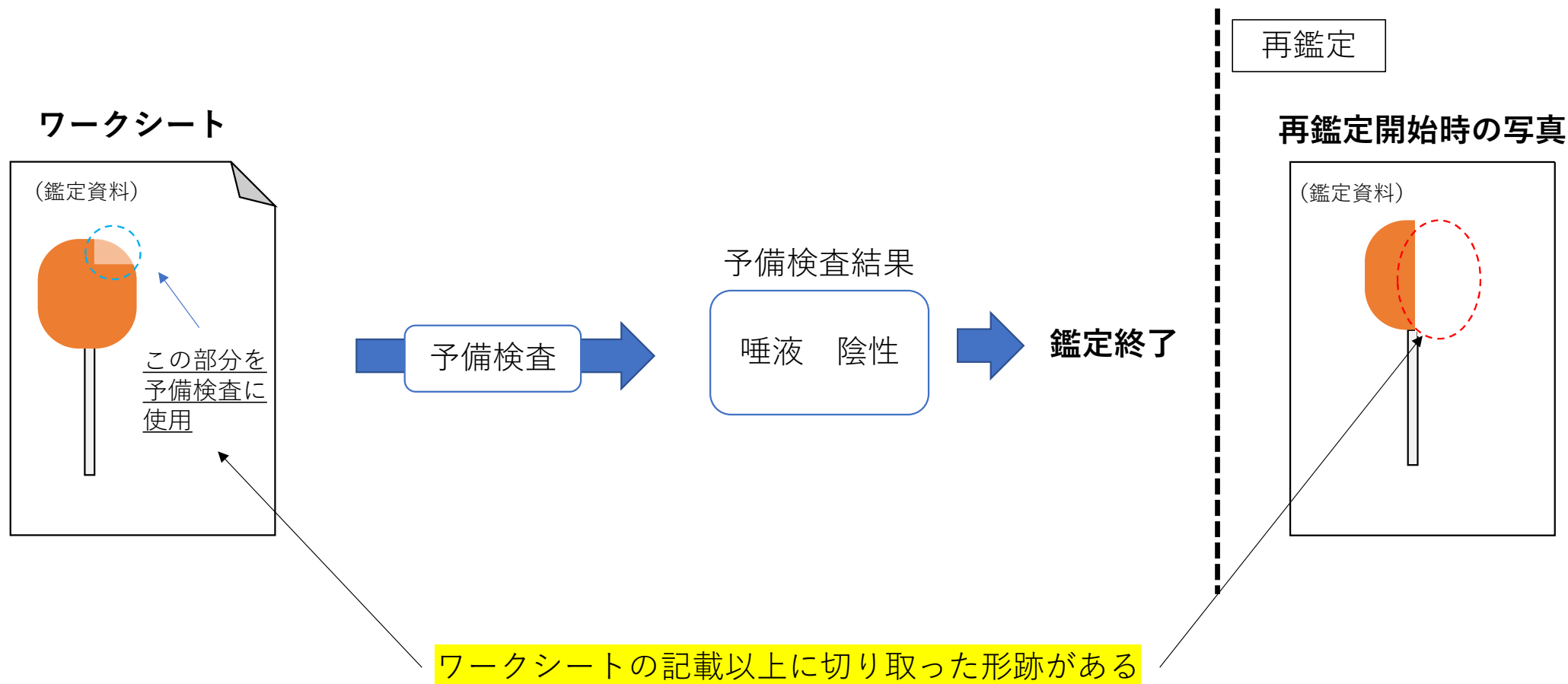
は付属物であり、鑑定資料ではない。

注：不適切な取扱いのイメージであり、実際の資料の形状や書類の記載内容を表すものではない。

類型[6]－3

【鑑定資料の不適切な切り取り】

：ワークシートに記載せずに鑑定資料の一部を切り取り、その後の検査を行っていないもの



注：不適切な取扱いのイメージであり、実際の資料の形状や書類の記載内容を表すものではない。

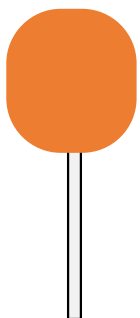
類型[6]－4

【鑑定結果の回答漏れ】

：鑑定結果を鑑定嘱託を受けた所属に回答していなかったもの

ワークシート

(鑑定資料)

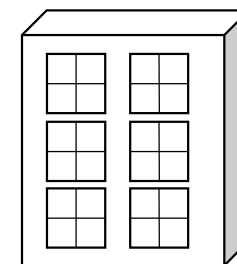


鑑定作業

鑑定結果

回答せず

警察署



注：不適切な取扱いのイメージであり、実際の資料の形状や書類の記載内容を表すものではない。

類型[7]－①

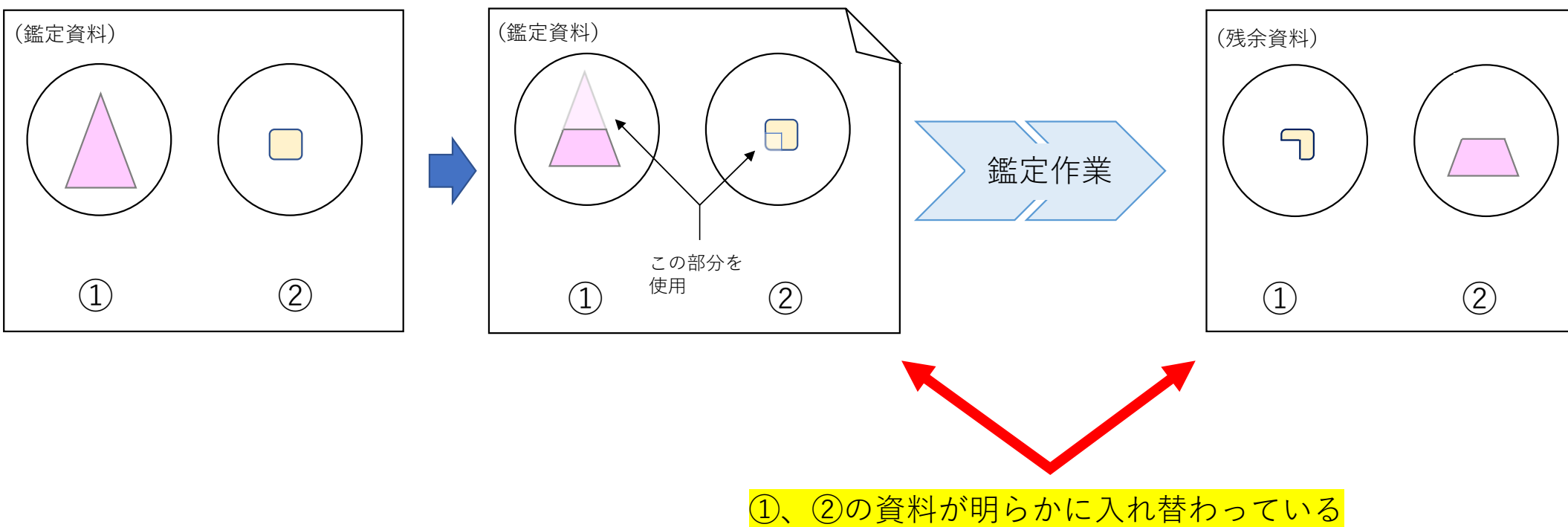
【鑑定資料の取り違い】

：複数の鑑定資料をまとめて囑託されたDNA型鑑定において、鑑定作業の途中で鑑定資料を取り違えていたもの

受領時写真

ワークシート

返還時写真

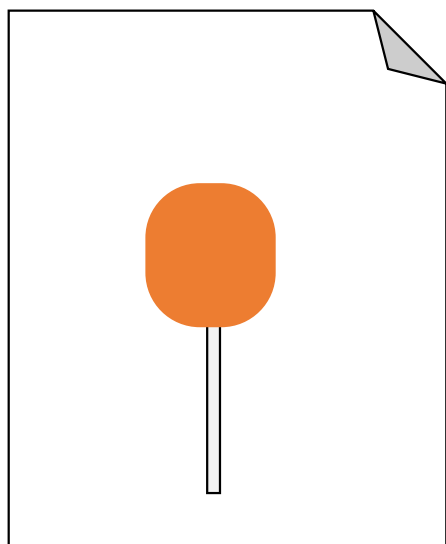


注：不適切な取扱いのイメージであり、実際の資料の形状や書類の記載内容を表すものではない。

【電気泳動の不実施】

類型[7]－②：定量後、引き続き行うべき検査を行っていなかったもの

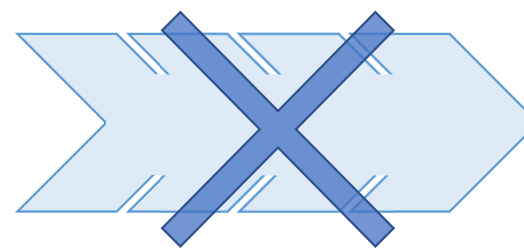
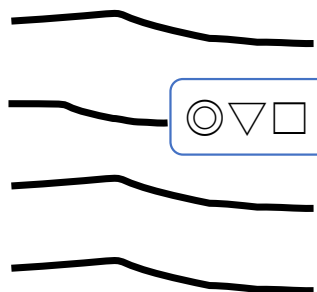
ワークシート



鑑定作業

定量結果

検査日時：○月×日



不実施

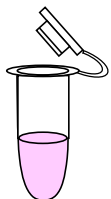
DNAが含まれていることを示す結果

注：不適切な取扱いのイメージであり、実際の資料の形状や書類の記載内容を表すものではない。

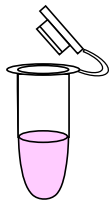
【別の鑑定資料のDNA抽出液等の使用】

類型[7]－③：鑑定資料のDNA抽出液・DNA増幅液として、別の鑑定資料のものを使用していたもの

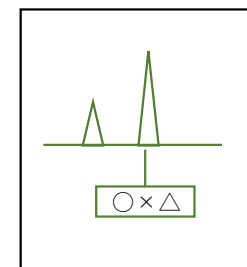
資料①のDNA増幅液



資料②のDNA増幅液



資料②として結果を取得



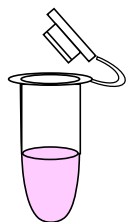
凡例

- > : 本来あるべき行為
- > : 不適切な行為

注：不適切な取扱いのイメージであり、実際の資料の形状や書類の記載内容を表すものではない。

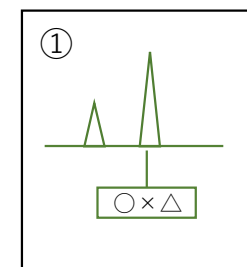
【別の鑑定資料の電気泳動データの使用】
 類型[7]－④：鑑定資料の電気泳動データとして、別の鑑定資料のものを使用していたもの

資料①のDNA増幅液



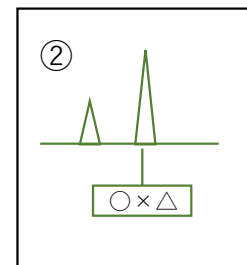
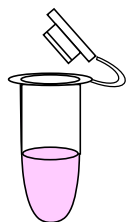
資料①として
電気泳動

資料①として結果を取得



編集して資料②として結果を作成

資料②のDNA増幅液



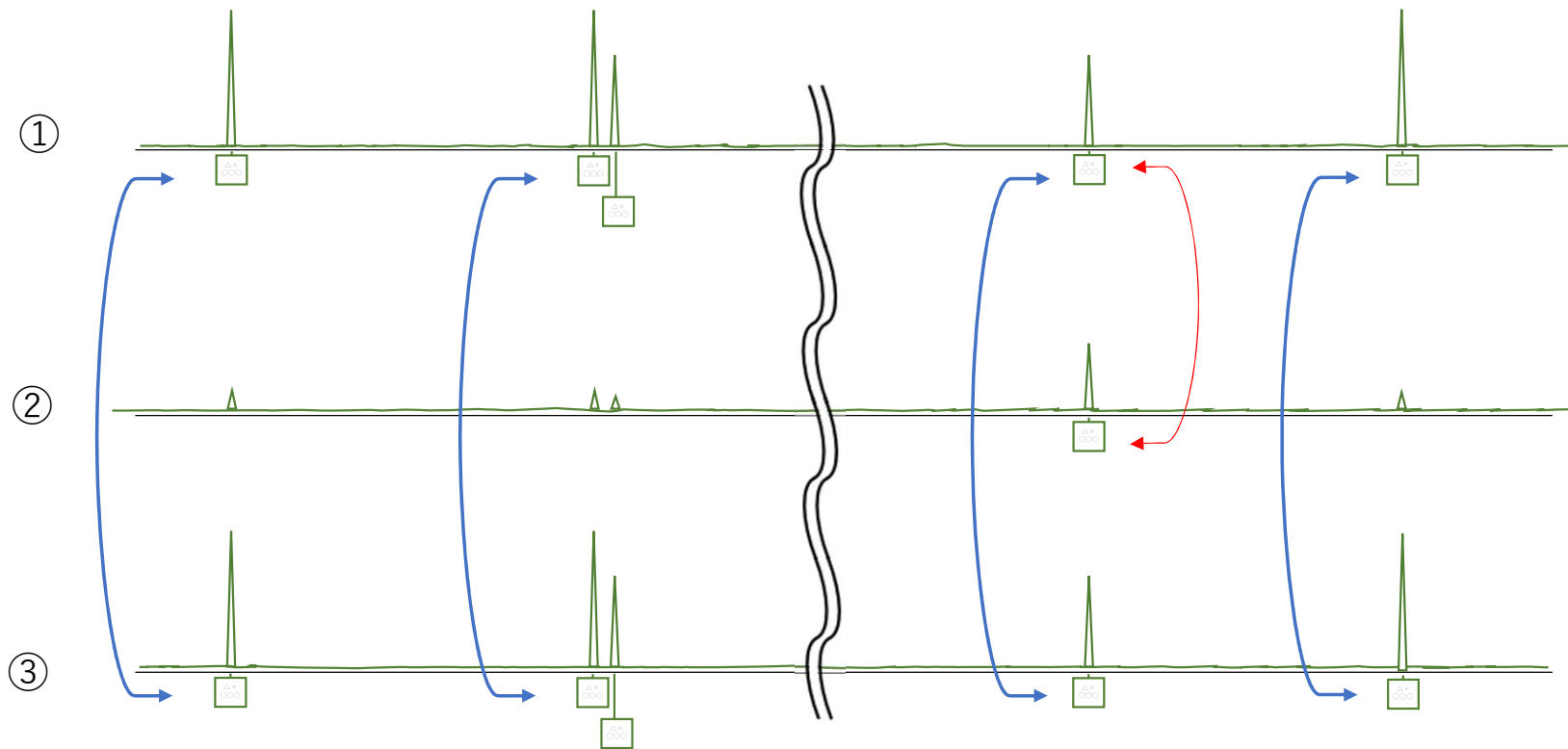
凡例
 —▶：実際の行為
 - - -▶：本来あるべき行為
 —▶：不適切な行為

注：不適切な取扱いのイメージであり、実際の資料の形状や書類の記載内容を表すものではない。

類型[7]－⑤

【DNA型の不適切な判定】

：電気泳動結果を適切に組み合わせて判定すれば、より多い座位数の検出を回答することができたもの



①と②→ 一致する座位が極端に少ない
①と③→ 一致する座位が多い

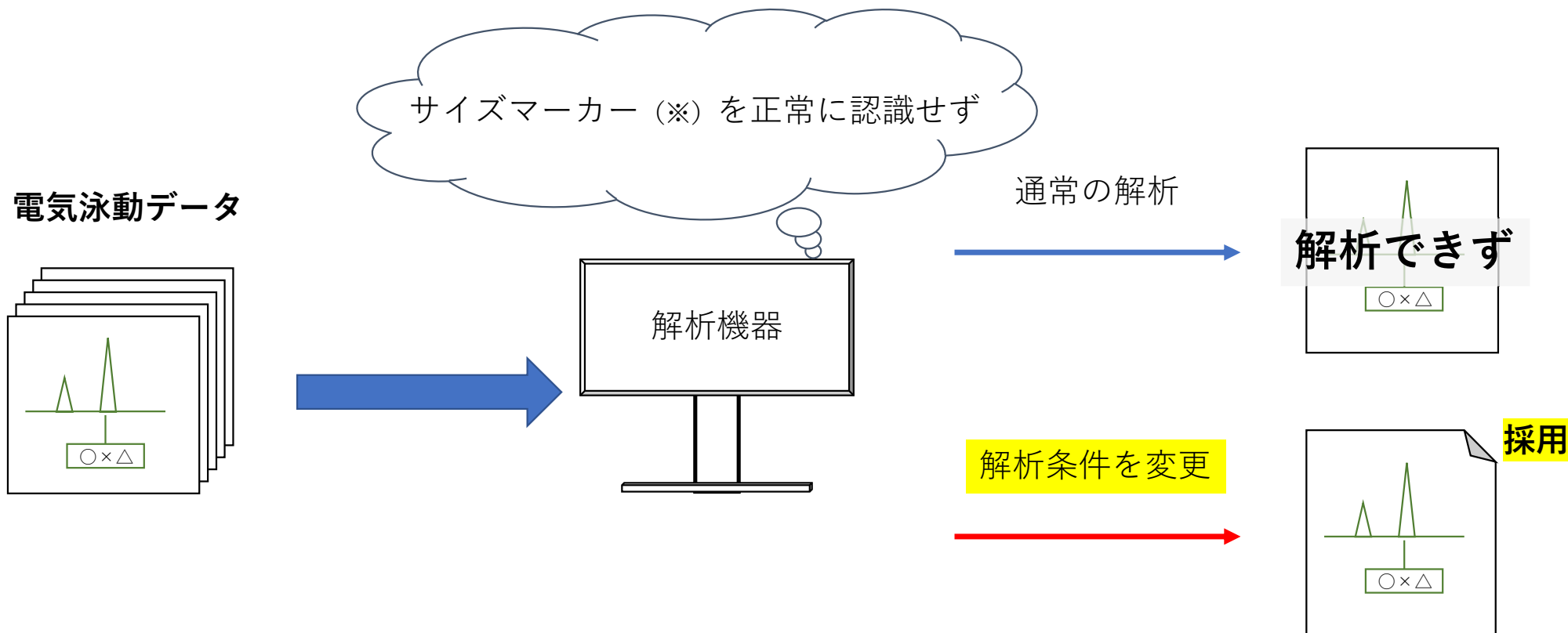
①と③で判定せず、①と②で判定した結果を、回答

注：不適切な取扱いのイメージであり、実際の資料の形状や書類の記載内容を表すものではない。

【DNA型に影響しない程度での電気泳動データの解析条件の変更】

類型[7]－⑥

：電気泳動データの解析に必要な指標を得るための試薬（サイズマーカー）の解析条件を、解析により検出されるDNA型に影響しない程度で変更し、解析を行ったもの



※電気泳動結果を解析する際に必要となる補正をするために各DNA増幅液に加えて検査するもの

凡例

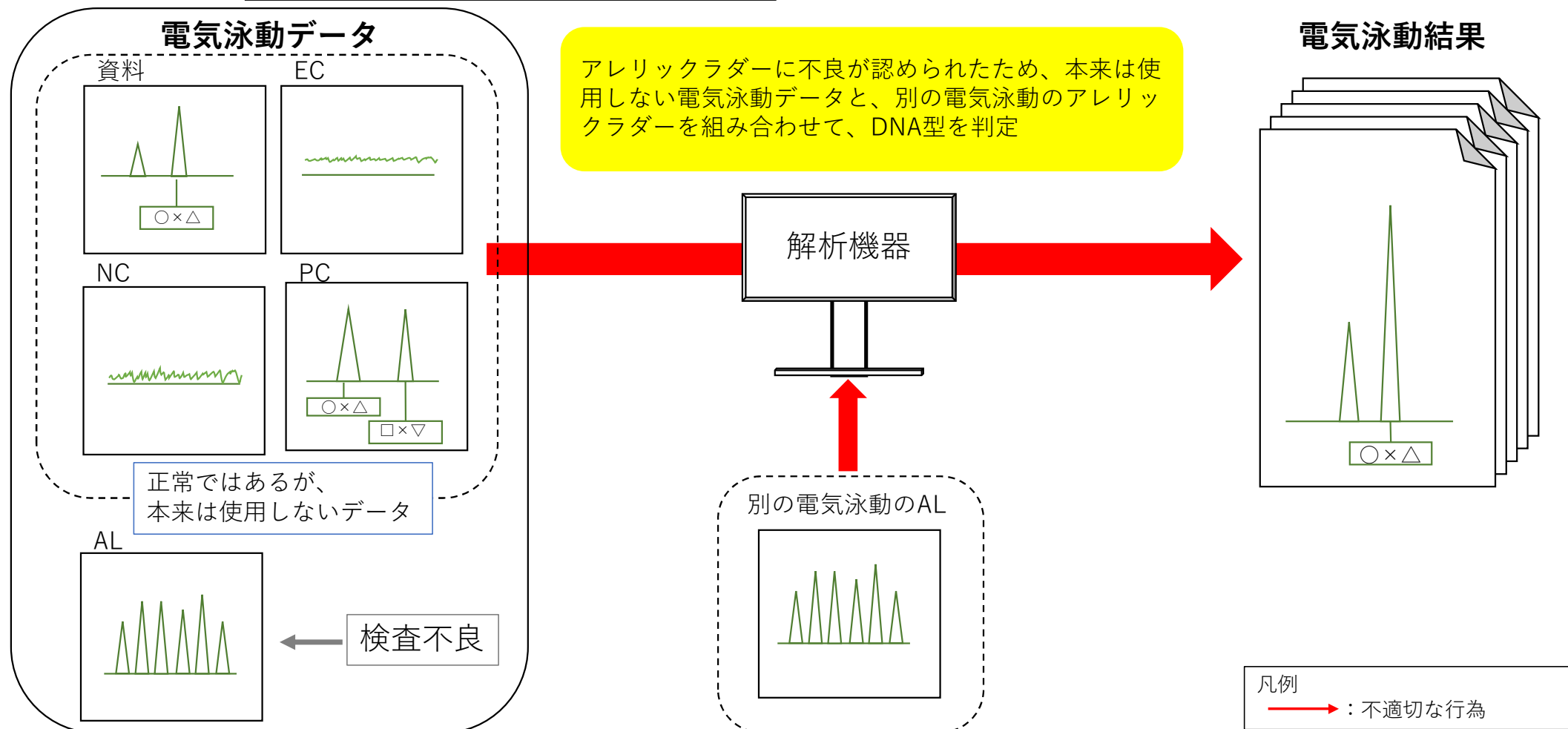
→ : 実際の行為
→ : 不適切な行為

注：不適切な取扱いのイメージであり、実際の資料の形状や書類の記載内容を表すものではない。

【本来は使用しない電気泳動データの使用】

類型[7]－⑦

：当該鑑定資料の電気泳動データには問題がなかったが、同時に電気泳動をしたアレリックラダーに検査不良が認められたため、本来使用しない当該鑑定資料の電気泳動データを使用して、決裁用の解析結果資料を作成したもの

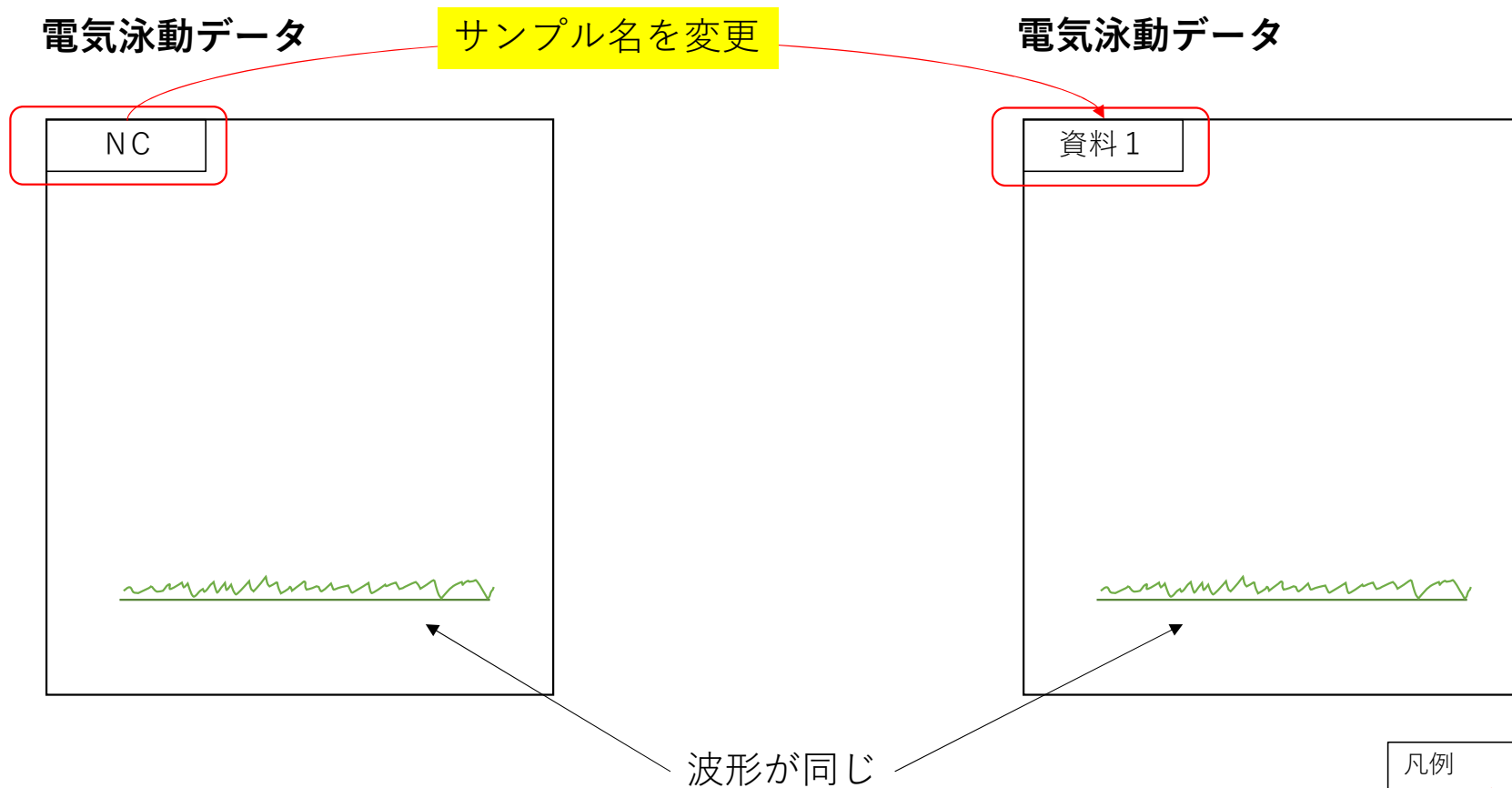


注：不適切な取扱いのイメージであり、実際の資料の形状や書類の記載内容を表すものではない。

類型[7]－⑧

【コントロールの電気泳動データを鑑定資料の電気泳動データとして使用】

：鑑定資料から「DNA型不検出」との結果を得たにもかかわらず、DNAを含まないコントロールの電気泳動データを鑑定資料の電気泳動データとして使用し、決裁用の解析結果資料を作成したもの



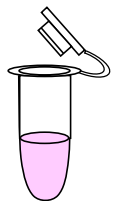
注：不適切な取扱いのイメージであり、実際の資料の形状や書類の記載内容を表すものではない。

類型[7]－⑨

【電気泳動の不適切な実施】

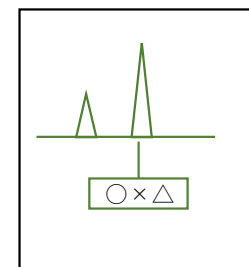
：本来、当該鑑定資料のDNA抽出液から別々に作成したDNA増幅液2種類に、それぞれ電気泳動を実施すべきところ、1種類のDNA増幅液を使用して電気泳動を2回実施し、それらの結果を使用して、DNA型判定を行っていたもの

1回目のDNA増幅液

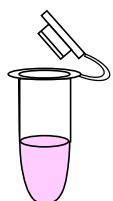


電気泳動を実施

(1回目電気泳動結果)

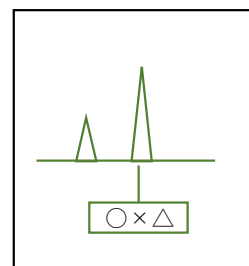


2回目のDNA増幅液



2回目のDNA増幅液として
もう一度電気泳動を実施

(2回目電気泳動結果)



凡例

- : 実際の行為
- - - - -→ : 本来あるべき行為
- : 不適切な行為

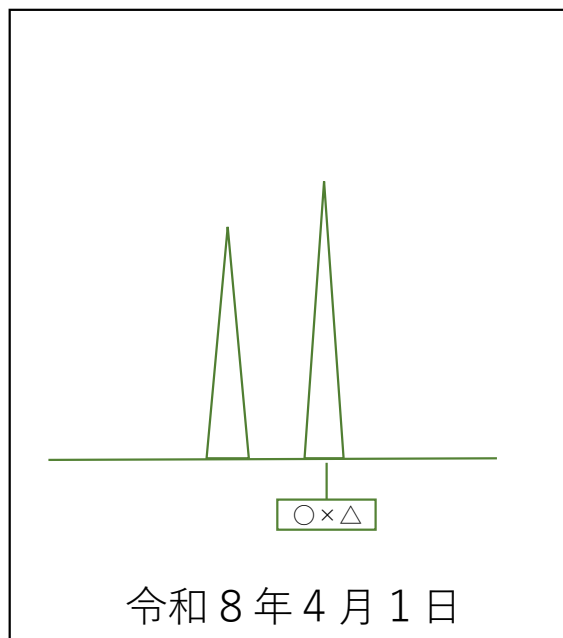
注：不適切な取扱いのイメージであり、実際の資料の形状や書類の記載内容を表すものではない。

【解析結果資料の印刷日時の変更】

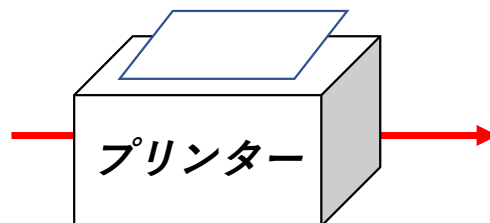
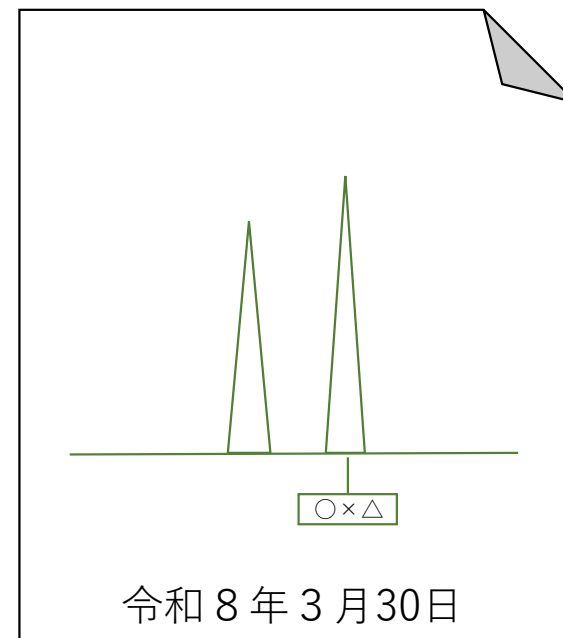
類型[7]－⑩

：事実と異なる印刷日時を表示した電気泳動データの解析結果資料を作成したもの

解析結果データ



解析結果資料



プリンター

データと印刷物で日時が異なっている

凡例

→ : 不適切な行為

注：不適切な取扱いのイメージであり、実際の資料の形状や書類の記載内容を表すものではない。

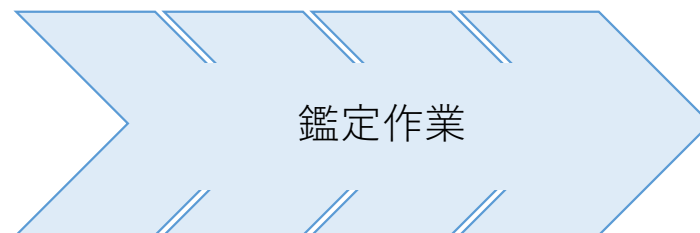
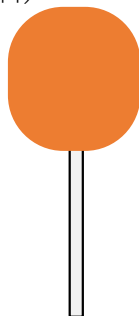
類型[7]－⑪

【ワークシートの未作成】

：ワークシートの作成が確認できなかったもの

鑑定着手

(鑑定資料)



鑑定終了

鑑定作業

ワークシートの作成が確認できない

注：不適切な取扱いのイメージであり、実際の資料の形状や書類の記載内容を表すものではない。